

# 今、戦争を知り平和を考える

戦争を二度と繰り返さないため、市では戦争を知り平和を考えるイベントを行っています。戦後80年の節目に今、当たり前ではない平和の尊さを考えてみませんか。



## 広島平和記念式典参加生徒体験発表会 平和トークディスカッション

中学生が学習した成果を発表します。また、過去に式典に参加した皆さんと平和を語るディスカッションを行います。

☐9月13日(土)

15:00~16:30

場市役所4階大会議室

☎不要

☎総務課 TEL71-2408



## 豊科郷土博物館 企画展関連イベント 現地見学会 豊科の戦争遺跡を歩く

豊科地域にある身近な戦争遺跡を巡ります。

☐10月4日(土)

9:00~12:00

場豊科郷土博物館集合

費100円

定20人(先着順)

☎9月20日(土)から電話で

☎豊科郷土博物館 TEL72-5672



## ■ブックレットで知る戦争

身近な戦争の記憶や今も残る戦争遺跡をまとめたブックレット「安曇野の戦争と、戦争遺跡」を販売しています。

販売場所 豊科郷土博物館

費500円

☎豊科郷土博物館 TEL72-5672



## 山と海の子どもたちが出会う 絆を深める3日間



穂高神社奥宮を参拝し、御船に乗る子どもたち

市と友好交流推進協定を結ぶ福岡市東区の小中学生が本市を訪れ、安曇野の小中学生と交流する青少年交流事業が7月23日から25日にかけて行われました。参加した小中学生20人は穂高神社や大王わさび農場を散策したり、そば打ちを体験したりして安曇野の自然や文化、食を体感しながら交流を深めました。初めは緊張した表情を見せていた子どもたちもすぐに打ち解け、笑顔で話す姿が見られました。24日には上高

地を訪れ、明神池にある穂高神社奥宮を参拝。神事で使用する御船へ特別に乗船し、目の前に広がる神秘的な景色に見入っていました。参加した熊谷莉咲さん(11・豊科高家)は「東区のみならず友達になれてうれしい。普段はできない体験ができて思い出になった」とおそろいで買ったキーホルダーを手に笑顔で話し、初めて安曇野を訪れた平川誠士郎くん(12・東区)は「田んぼが広がる自然豊かな風景に驚いた。もっと安曇野の

ことを知りたい」と目を輝かせていました。この交流は東区にある志賀島周辺を拠点にしていた古代海洋民「あづみ族」が安曇野へやってきたと伝えられている縁から始まり、本年度31回目を迎えます。新型コロナウイルスなどにより中断していましたが、昨本市が東区を訪問し交流が再開。安曇野市での受け入れは7年ぶりとなりました。市と東区では、今後も互いの魅力を伝え合う取り組みを続けていきます。

## 安曇野産農産物の魅力に関西へ PR イベント開催

市は7月25日から27日、ららぽーと甲子園(兵庫県西宮市)で安曇野産農産物などの魅力を発信するイベント「安曇野SUN SUN マルシェ in ららぽーと甲子園」を開きました。このイベントは関西地方を中心に店舗を展開し、長野県産の農産物を活用したメニューを提供する「上高地あずさ珈琲」と連携し、本年度2回目。昨年好評だった安曇野直送スイートコーンや桃などの販売や「上高地あずさ珈琲」でのコ

ラボメニューに加え、新たに安曇野産コシヒカリの升すくいが行われました。5合升に盛った分だけ購入できるコメの量り売りは連日大にぎわいで、各日とも開始早々に完売するほどの人気でした。また、マルシェでの購入金額が1000円を超えることに、市内企業から協賛いただいた特産品などが当たる抽選ガチャも行われました。27日には、太田市長とあづみ農業協同組合の宮澤代表理事組合長によるス



ららぽーと甲子園でコメの升すくいに挑戦する買い物客

イトコーンのツイントップセールスが行われました。会場内は、皮の柔らかさが特徴の新鮮な甘いスイートコーンを手にする買い物客でにぎわいを見せていました。市では、今後も全国へ向けて安曇野産農産物の魅力発信と新たな販路開拓、観光プロモーションに取り組んでいきます。